

とする。この液 25 mL をとり、シュウ酸試液 1 mL 及びエタノール (95) を加えて 50 mL とし、振り混ぜる。

(6) ヒ素 本品 0.40 g を磁製のつぼにとり、水酸化ナトリウム試液 10 mL を加え、煮沸して溶かし、冷後、水 5 mL 及び希塩酸 5 mL を加えて振り混ぜ、これを検液とし、装置 B を用いる方法により試験を行う (5 ppm 以下)。

乾燥減量 7.0 % 以下 (1 g, 105 °C, 4 時間)。

強熱減量 12.0 % 以下 (1 g, 850 ~ 900 °C, 恒量)。

容積試験 本品 5.0 g を量り、200 mL のメスシリンダーに徐々にに入れて静置するとき、その容積は 70 mL 以上である。

定量法 本品約 1 g を精密に量り、塩酸 20 mL を加え、砂浴上で蒸発乾固し、残留物を更に塩酸で潤して蒸発乾固した後、110 ~ 120 °C で 2 時間加熱する。冷後、希塩酸 5 mL を加え、加熱した後、室温に放冷し、熱湯 20 ~ 25 mL を加えて速やかにろ過し、洗液が塩化物の定性反応 (2) を呈しなくなるまで温湯で洗い、残留物をろ紙とともに白金つぼに入れ、強熱して灰化し、更に 30 分間強熱し、冷後、質量を量り a (g) とする。次に残留物を水で潤し、フッ化水素酸 6 mL 及び硫酸 3 滴を加え、蒸発乾固した後、5 分間強熱し、冷後、質量を量り b (g) とする。

$$\text{二酸化ケイ素 (SiO}_2\text{) の量 (g) = } a - b$$

貯法 容器 気密容器。

ケイヒ

Cinnamon Bark

CINNAMOMI CORTEX

桂皮

本品は *Cinnamomum cassia* Blume (*Lauraceae*) の樹皮又は周皮の一部を除いたものである。

性状 本品は、通例、半管状又は巻き込んだ管状の皮片で、厚さ 0.1 ~ 0.5 cm、長さ 5 ~ 50 cm、径 1.5 ~ 5 cm である。外面は暗赤褐色を呈し、内面は赤褐色を呈し、平滑である。破折しやすく、折面はやや繊維性で赤褐色を呈し淡褐色の薄層がある。

本品は特異な芳香があり、味は甘く、辛く、後にやや粘液性で、わずかに収れん性である。

本品の横切片を鏡検するとき、一次皮部と二次皮部はほとんど連続した石細胞環で区分され、環の外辺にはほぼ円形に結集した繊維束を伴い、環の各石細胞の壁はしばしば U 字形に肥厚する。二次皮部中には石細胞を認めず、まばらに少数の厚膜繊維を認める。柔組織中には油細胞、粘液細胞及びでんぷん粒を含む。放射組織中には微細なシュウ酸カルシウムの針晶を含む細胞がある。

確認試験 本品の粉末 2.0 g にジエチルエーテル 10 mL を加え、3 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 10 μ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキササン/酢酸エチル混液 (2 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、 R_f 値 0.4 付近に紫色の

スポットを認める。このスポットは、2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液を均等に噴霧するとき、黄だいたい色を呈する。

乾燥減量 15.5 % 以下 (6 時間)。

灰分 5.0 % 以下。

精油含量 本品の粉末 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.5 mL 以上である。ただし、あらかじめフラスコ内の試料上にシリコン樹脂 1 mL を加え、試験を行う。

ケイヒ末

Powdered Cinnamon Bark

CINNAMOMI CORTEX PULVERATUS

桂皮末

本品は「ケイヒ」を粉末としたものである。

性状 本品は赤褐色～褐色を呈し、特異な芳香があり、味は甘く、辛く、後にやや粘液性で、わずかに収れん性である。

本品を鏡検するとき、でんぷん粒及びこれを含む柔細胞の破片、繊維の破片、黄褐色の油滴を含む油細胞の破片、石細胞の破片、コルク石細胞の破片、コルク組織の破片、微細なシュウ酸カルシウムの針晶を認める。でんぷん粒は単粒及び複粒で、径 6 ~ 20 μ m である。

確認試験 本品の粉末 2.0 g にジエチルエーテル 10 mL を加え、3 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 10 μ L を薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキササン/酢酸エチル混液 (2 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、 R_f 値 0.4 付近に紫色のスポットを認める。このスポットは、2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液を均等に噴霧するとき、黄だいたい色を呈する。

純度試験 葉柄 本品を鏡検するとき、表皮細胞、毛、葉緑粒を含む細胞及び維管束の破片を認めない。

乾燥減量 15.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 5.0 % 以下。

精油含量 本品 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.35 mL 以上である。ただし、あらかじめフラスコ内の試料上にシリコン樹脂 1 mL を加え、試験を行う。

貯法 容器 気密容器。

ケイヒ油

Cinnamon Oil

OLEUM CINNAMOMI

桂皮油

本品は *Cinnamomum cassia* Blume の葉と小枝若しくは樹皮又は *Cinnamomum zeylanicum* Nees (*Lauraceae*) の樹皮を水蒸気蒸留して得た精油である。

本品は定量するとき、総アルデヒド 60 vol% 以上を含む。

性状 本品は黄色～褐色の液で、特異な芳香があり、味は甘